

講演1 (11:00～12:00)

「三菱電機の研究開発～連携開発の考え方～」

三菱電機(株) 常務執行役・開発本部長

堤 和彦 氏



〈講演要旨〉

東日本大震災とその復興、押し寄せる円高の波、そしてグローバル競争の一層の激化と、経営環境も大きく変化しています。

この変革期にこそ、基礎技術に基づく新しい価値の創出が強く求められています。そのためには産学官の連携が必要であり、イノベーションを起こす環境作りが重要です。

当社はこれまでに、社内、社外オープンイノベーションを推進しており、大学との連携によるオープンイノベーション事例や当社研究開発の最新事例なども紹介します。

講演2 (13:00～14:00)

「どうする、日本の原子力発電」

(株)朝日新聞社 編集委員

竹内 敬二 氏



〈講演要旨〉

福島第一原発の事故後、日本では原発の多くが止まって電力不足が起き、広い地域で「節電の夏」を強いられた。日本の原発政策も大幅に変わりそうだ。今後、原発はどの程度減少し、政策はどう変わるのかを展望し、世界の原発事情と比較する。

一方、原発の減少を補うものとして、太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーが脚光を浴びている。日本での利用はまだ少なくが、8月には「再生可能エネルギー買い取り法」が成立し、今後の急増が予想される。日照時間の長い瀬戸内地方では太陽光発電、太陽熱温水器が有利だ。原子力と自然エネルギーの潮流から、将来の地域の生活がどう変わるかを考える。